

PRESS RELEASE

課題は「情報発信」？ランチ・テイクアウト・デリバリーに飲食店の活路はあるのか 「緊急事態宣言後の飲食店利用動向調査（東京）」調査報告レポート

atResta（アトレスト、東京都国分寺市）は、2020年4月17日～4月21日の5日間で東京都在住あるいは在勤の人を対象に「緊急事態宣言後の飲食店利用動向調査」を独自に実施し、当店の顧客に特定せず広くインターネットより回答を依頼、有効回答数168件を得ました。調査結果データの集計結果を下記にご報告致します。

<調査結果サマリー>

- 仕事状況について「変わらず出勤している」のは約32%、「テレワーク」「時短」等就業形態が変わった人は約63%に。
- 飲食店の営業について、「飲食店全体（居酒屋含む）」に対しては約3割、「酒場・ナイトワーク系」に対しては約6割にのぼる生活者が「休業しておくべき」との考えを示す。ランチや20時までの営業ニーズにも業態によって大きな差異が。
- 緊急事態宣言後、「ランチをお店に行って食べる」人は約33%、「ランチをテイクアウトで食べる」のは24%、「ランチをデリバリーする」のは約8%に。
- 緊急事態宣言後、「夕食をお店にいて食べる」人は約25%、「夕食をテイクアウトする」のは約13%、「夕食をデリバリーする」については約8%に。いずれにしても「情報が少なくてわからない」人が多い？
- テイクアウト・デリバリーの利用経験は「お弁当形式」が約6割、次いで「ピザなどの軽食系」と「ファーストフード系」が共に約4割
- テイクアウト・デリバリーを利用していない人を中心に、「あったら利用したい」のは「お弁当形式」が約5割、次いで「おかずのみ単品の形式」が5割弱、「オードブル形式」が3割強と続く。利用実態とニーズの不一致が見られた。
- 「女性向け」「おかずのみ」テイクアウト・デリバリーが少ない？意外と多かった声。

<本件に関するお問い合わせ>

調査実施者 : atResta（アトレスト）／担当：吉岡
所在地 : 東京都国分寺市南町3-12-3 ICHIJO BLDG. 1F
連絡先 : 042-403-8315（2020年5月6日までは11:00～17:00で電話対応可能）
info@atresta.xyz

※本件調査結果レポートの詳細データは <http://info.atresta.xyz/report> より無償にてダウンロード頂けます。